

第4分科会報告資料

【ふくしま復興共同センター全県代表者会議（2016.9.20）への提案】

1. 原発めぐり的情勢、動き

（1）原発再稼働、廃炉

①三反園鹿児島県知事は、九州電力川内原発の「一時停止、再点検」を2度要請。九州電力は2回とも拒否回答。

②高速増殖炉「もんじゅ」（福井県）は、廃炉の方向で調整に入った。核燃料サイクルの破たん。

③フランスの原発で、「日本鋳鍛鋼」が納入した原子炉圧力容器に強度不足の疑いがあることが問題となり調査がすすめられ、金属中の炭素成分に由来する不純物濃度が、0.3%超で、フランスの基準0.22%以下を上回ったことが明らかになった（日本の基準は0.25以下）。日本鋳鍛鋼は、日本では福島第二原発2号機、4号機を含む8原発13基の原子炉圧力容器を製造している。原子力規制委員会は各電力会社に10月中に調査し報告するよう求めている。

（2）自主避難者への住宅無償提供打ち切り

①山形、米沢で、自主避難者やその支援者により、「住宅支援の延長を求める会」が発足。

②山形県が避難者に無償提供する県職員住宅を確保し、来年4月から2年間無償提供することを検討など他県の支援が広がる。

（3）甲状腺がん検査の「見直し」

・福島県小児科医会が「見直し（検査縮小）」を求めたように報道されているが、小児科医会としては求めておらず、会長の個人的な見解である。

・検査の縮小ではなく、県民に丁寧に説明しながら継続することが必要。

2. 福島県との緊急交渉

上記の情勢や動き、26日から県議会が開会となることをふまえ、下記の要領で、緊急の県交渉を実施します。

<日時> 9月23日（金）午後1時集合、打ち合わせ
午後1時30分～交渉開始（1時間程度）

<会場> 県庁本庁舎3階「商労文教委員会室」（50人）

<要請内容> 別紙「緊急要望書」参照。

<おねがい> 資料等の準備の関係で、事前に参加者氏名を報告ください。

3. 新しい署名運動について

（1）署名用紙の最終確定（別紙）

（2）全国の方針（別紙）とむすんで具体化をすすめる

4. 「11・13ふくしま集会」の概要について

別紙の「開催要綱」（案）参照。

5. 当面する集会の成功に向けて

(1) シンポジウム「原発事故から6年目の今、福島のこれからを考える」

- <日時> 10月1日(土) 午後1:30～
- <会場> 二本松・県男女共生センター 1階ホール
- <主催> 原発被害者訴訟原告団全国連絡会

(2) 青年集会「福島から話そう～今まで、これから、そして未来」

- <日時> 10月16日(日) 午後1:00～
- <会場> 福島県教育会館 大ホール
- <主催> 日本民主青年同盟福島県委員会

(3) 「災害対策全国交流集会 in Fukushima」

- <日時> 11月4日(金)～5日(土)
- <会場> いわき新舞子ハイツ
- <内容> 1日目＝現地視察のみ。12時40分、いわき駅前集合。
2日目＝4つの分科会、全体会(8:30～13:00)
- <参加費> 1万5千円(宿泊含む)。日帰り1日目3000円、2日目1000円。
- <参加要請> 福島県全体で50人(宿泊者確保)。
 - ・事務局団体は6人以上・・県労連関係12人。新婦人6人、農民連6人、民医連6人、福商連6人、共産党6人。
 - ・加盟団体は1人以上・・県生連、民青同盟、国民救援会、原水協、平和委員会、革新懇、原発県連、自由法曹団、保険医協会、母親連絡会、保育連絡会、完全賠償させる会、生業訴訟原告団
 - ・地域センターは1人以上・・浜通りセンターは別途相談します。

6. 当面の会議について

「11・13集会」を成功させるために、加盟団体会議を下記の日程で開催させていただきます。福島、伊達、二本松の地域センターにも参加を要請します。

*10月4日(火) 午前10:30～、青年会館。

*10月17日(月)、24日(月)、31日(月)、11月7日(月)は午後3時～、青年会館。

以上